

経済人コー円卓会議（CRT）日本委員会では以下の2職種において職員各1名ずつを募集します。

一緒に目指したいゴール

- ・物事の本質を捉え、自ら編集する力を習得し、他者を魅了できる人財を目指すこと。
- ・世論形成を実装化してファーストペンギンの立ち位置を目指すこと。

提出して頂きたい資料

- ・履歴書（日本語）

問い合わせ先

- ・メールアドレス：info@crt-japan.jp
担当：CRT 日本委員会 石田寛

1. システム担当

求められる能力

当会は、開発会社に開発作業を委託しているため、本募集職種への応募に際して開発分野での経験は問いません。ただし、業務においては、物事を集合体として捉えたり、あるいはそれを構成する個々の要素を捉えたり、また全体と個々あるいは個々の要素間の関係性を捉えたり、また、これら相互間の影響の有無に応じて既存のシステムに必要な開発あるいは改修箇所を洗い出すなどの作業が必要になります。システム思考に長けた方に合った業務内容と考えます。

また現在、複数のシステムが稼働しています。複数のシステムへの開発および改修作業が同時に進行するため、日々発生する作業に優先順位をつけ、かつ状況に応じてその優先順位を見直しながら、適切にプロジェクトを管理する能力が求められます。

日々の業務内容

委託先である開発会社とのコミュニケーションが主な業務になります。業務内容には、システムおよびセキュリティ理解、課題の切り分け、開発あるいは改修後のシステムの動作確認などが含まれます。これ以外にも、当会顧問弁護士とのコミュニケーションを通じたGDPRや個人情報保護法への理解やこれを遵守したプライバシーポリシーの策定および改訂、顧客企業との打ち合わせを通じたユーザーニーズの把握、顧客企業へのサポート対応が含まれます。

開発会社とは日本語でのコミュニケーションが可能ですが、当会の全システムが日本語および英語対応である他、各種規約も両言語で策定しているため、日本語および英語の両方を理解する方がよりよいです。リモート作業は可能ですが、顧客企業との打ち合わせの場に同席をお願いする可能性があります。

その他

当会のシステムは、「ビジネスと人権」取り組みを進める上で重要な、「サプライヤーにおける労働者の雇用状況の把握」や「労働者の声の取得」を目的として稼働しています。資格および「ビジネスと人権」分野での経験は問いませんが、「ビジネスと人権」に対する興味・関心が高く、「このようなシステムがあるとよい」という想いやアイデアをお持ちの方からの応募を歓迎します。給料および勤務時間については、相談に応じます。

2. コンサルティングおよびライティング担当

求められる能力

当会の顧客の業種は、金融・保険業、製造業・食品製造業、製薬業まで幅広い業種にわたります。それぞれの顧客企業のパートナーとして、顧客企業へのヒアリングを通じてその事業内容を正しく理解し、これらの事業がどのように人権と関係するのかを把握し、これらの顧客企業における既存の取り組みを「人権」という観点から再構築したうえで、国際的に認められた人権規準に則って強化が求められる取り組みを見定め、取り組みの進展と同時に活動内容の開示原稿を作成あるいは顧客企業が作成した原稿をレビューします。開示原稿の作成にあたっては、顧客企業における取り組みの一つひとつを個々に捉えるのではなく、これら一つひとつにおける取り組みの意味を「世界的課題」「社会的課題」「社会ニーズ」「ビジネスと人権」という文脈や背景に紐づけて考え、そこから見定められる価値の全体をストーリーとして語る（文章化する）能力が求められます。ストーリー作りの得意な方に合った業務内容と考えます。

日々の業務内容

顧客企業との打ち合わせを通じて、必要なプロジェクトを提案し、合意を得たプロジェクトが予定通り進むように進捗管理します。顧客企業のニーズを把握し、常に顧客の次を見定め&提案しながら、顧客企業の取り組みの推進と、その取り組みの情報開示までを支援します。リモート作業は可能ですが、必要に応じて、顧客企業を直接に訪問いただきます。

その他

資格および「ビジネスと人権」分野での経験は問いませんが、「ビジネスと人権」や世界動向や世界のニュースに対する興味・関心が高く、それが顧客企業の事業に与える影響について積極的かつ幅広く考察できる方を募集します。給料および勤務時間については、相談に応じます。